

月	単元	教材名	時	学習活動	
4	深まる学びへ	春に	1	文脈の中の語句の効果的な使い方など表現上の工夫に注意して読む。 詩に込められた作者の人間や自然に対する思いを捉え、自現の工夫や詩に込められた作者の人間や自然に対する思いを読み取る。	
		握手	4	作品中作品中の表現や、登場人物の置かれた状況、言動に着目して、人物像を捉える。 登場人物の生き方や考え方を捉え、人間や社会について自分の意見をもち作品を批評する	
		漢字を確認しよう	1	漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。	
		季節のしおり 春	1	春の季節語や、春の情景を詠んだ和歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	
		学びて時にこれを習ふー「論語」から	2	漢文の言い回しに注意し、文脈中の語句の意味を捉えて読み、人間の生き方についての孔子の考え方を自分たちの生活と関連づけて考える。	
		練習 評価しながら書く	1	評価しながら相手の考え方を聞き、自分のものの見方や考え方、表現のしかたに役立てる	
		5	社会との関わりを伝えよう 相手や目的に応じたスピーチをする	4	スピーチの相手や目的や内容と構成を考え、資料を活用したり話し方を工夫したりしてスピーチをする。
6	視野を広げる	漢字1 熟語の読み方	1	種々の熟語の読み方を理解する。	
		月の起源を探る	4	語句の使い方や説明の順序、図の使い方に着目して、内容を捉える。	
		漢字を確認しよう	1	漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。	
		練習 文章の形態を選んで書く	1	文章の形態の特徴に注意して文章を書く。	
		魅力的な紙面を作ろう 修学旅行記を編集しよう	4	内容にふさわしい文章の形態や素材を選び、紙面構成を工夫して書く。	
		「想いのリレー」に加わろう 「情報発信」について考えよう	2	現代のさまざまなメディアの特徴を考え、情報発信の意義と注意点について考えを深める	
		言葉1 和語・漢語・外来語	1	和語・漢語・外来語・混種語の性質や特徴について理解する。	
7	言葉を見つめる	俳句の可能性 俳句を味わう	3	筆者のものの見方や感じ方、表現のしかたなどを読み味わい、俳句の世界に親しむ。	
		言葉を選ぼう	1	時間の経過によって変化した言葉や世代によって使われ方の違う言葉を見つけ、その違いを理解するとともにその内容をわかりやすい説明になるよう構成を工夫して書く。	
		「批評」の言葉をためる	2	文脈の中の語句の意味に留意しながら、「批評する言葉」についての筆者の考えを読み取り、自分の考えをもつ。	
		文法への扉1 すいかは幾つ必要？	1	文の成分の順序や構成などの文法の知識についての理解を深める。	
	読書生活を豊かに	高瀬舟・未来の私にお薦めの本・案内・読書コラム ためになるどんなこと？	2	近代文学の表現を味わう。 目的をもって本を読み、表現上の特徴、文章の展開や場面・登場人物の設定などを捉えて、自分の考えを広げたり深めたりする。	
		季節のしおり 夏	1	伝統的な言語文化に親しむ。	
		9	挨拶 故郷	2 5	語句や表現に込められた意味を読み取る。 表現や場面、登場人物の設定に着目して、時代や社会の変化の中での登場人物のの心情や関係の変化を読み取る。
10	状況の中で	漢字を確認しよう 練習 推敲して文章を整える	1 1	漢字を正しく読み、小学校で学習した漢字に書き慣れる。 課題文を推敲し、読みやすくわかりやすい文章にする観点を押さえる。	
		新聞の社説を比較して読もう	3	一つの話題に関する複数の文章を読み比べ、主張や構成について評価し、ものの見方や考え方を広げる。	
		言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語	1	慣用句・ことわざ・故事成語などの知識を広げる。	
		漢字2 漢字の造語力	1	漢字の造語力について知り、語彙を豊かにし、文や文章の中で使うことができる。	
		季節のしおり 秋	1	伝統的な言語文化に親しむ。	
		いにしえの心と語らう	音読を楽しもう 古今和歌集仮名序	1	表現上の工夫に注意しながら、冒頭部分を音読し、古典の世界に親しむ。
			君待つと 一万葉・古今・新古今	2	効果的な表現や語句の使い方に着目して、それぞれの和歌を読み味わう。 歴史的な背景に注意して古典の和歌を読み、昔の人の心情や情景を読み味わうとともに和歌に歌われている人間や自然などについて、自分の考えをもつ。
夏草 — 「おくのほそ道」から	4		古典の文章を、表現のしかたや文体の特徴に着目して読み味わう。歴史的背景などを考えながら作者のものの見方や感じ方を読み取る。		
古典を心の中に	1		古典作品について書かれた文章を読み、自分の考えを深め、古典の世界に親しむ。		
11	論旨を捉えて	作られた「物語」を超えて	4	筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目して主張を捉え、表現のしかたを評価する。 筆者のものの見方や考え方を踏まえて、人間、社会、自然などについて自分の考えをもつ。	
		練習 話し合いを効果的に進める	1	話し合いが効果的に展開するように進行のしかたを工夫する。	
		話し合って提案をまとめよう 課題解決に向けて会議を開く	5	社会生活の中から課題を見つけ、その解決に向けて説得力のある提案をし、自分のものの見方や考え方を深める。	
		練習 観点を立てて分析する	1	社会生活の中から課題を決め観点を立てて分析し考えを深める。	
12	説得力のある文章を書こう 批評文を書く	5	社会生活の中から関心のある事柄を決め、観点を立てて分析し、考えを深める。 論理の展開や表現のしかたを工夫して書いた、説得力のある文章を読み合っもの見方を深める。		

12	論旨を捉えて	初 恋	1	詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み，人間・社会・自然などについて考え，自分の意見をもつ。
		文法への扉 2 「ない」の違いがわからない？	1	2年までに学習した文法の知識を確かめ，理解を深める。
	読書に親しむ	エルサルバドルの少女 ヘスース 読書コラム 読書記録をつける 読書案内	1	目的をもって本を読み，人間・社会・自然などについての知識を広げ，自分の考えを深める。
		季節のしおり 冬	1	伝統的な言語文化に親しむ。
1	未来に向かっ て	誰かの代わりに	5	現代社会の可能性や困難，自分の生き方について考え，意見をもつ。 文脈における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して論理の展開のしかたを捉える
2		わたしを束ねないで	3	詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み，自分の可能性や生き方などについて考え，自分の意見をもつ。
3		漢字 3 漢字のまとめ	2	2年生までに学習した漢字とその他の常用漢字のだいたいを読み，適切に使い慣れる。
		三年間の歩みを振り返ろう 学びについて語り合う	6	三年間の学びを振り返りながら自分の考えを深め，構成を工夫してまとめる。 自分の経験や知識を整理して話し，発表内容や書いた作品を評価し合っもの見方や考え方を深める。

評価

【評価の観点】 国語は以下の5観点

①国語への関心・意欲・態度

- ・国語(読む、書く、聞く、話す活動や言語)に関心を持っている。
- ・授業に真剣に(かつ積極的に)取り組んでいる。
- ・プリント類の整理やノートの記入がきちんとされ、提出物をしっかり提出できる。

②話す・聞く能力

- ・話す速度や音量、語調や間、構成や展開、言葉遣いなどに留意して話すことができる。
- ・相手の話をその構成や展開などに注意して聞きその内容を的確に理解することができる。
- ・相手の話を誠意をもって真摯な態度で聞くことができる。

③書く能力

- ・語句、表現、内容、構成や展開を工夫し的確でわかりやすい文章を書くことができる。

④読む能力

- ・語句や表現や構成や場面の展開等に留意して、内容を的確に理解することができる。
- ・文章に応じて声の大小や強弱、抑揚やリズムなどを意識して音読や朗読ができる。

⑤言語についての知識・理解・技能

- ・漢字や語句や文法や表現や敬語などについての知識を持っている。
- ・文字の形態や特徴を理解して文字を美しく書くことができる。

【評価の方法】

- ①授業への取り組み姿勢や活動内容。
 - ②小テストや定期テストや暗記朗読テスト等の結果。
 - ③プリントやワークやファイルの内容と提出状況。
- 総合的に評価します。

【通知表での観点表示】

- A…十分満足できる状況。 B…おおむね満足できる状況。 C…努力を要する状況。

教材・テスト・提出物・学習方法

使用教材

- ・教科書(光村図書) ・漢字ワーク ・国語資料集 ・自作プリント
- * B 5 判ファイル(授業プリントや配布資料 用)

テストと提出物

- | | |
|------------------|---------------------|
| ・1学期…中間テスト・期末テスト | ・「漢字ワーク」…定期テスト後すぐ |
| ・2学期…中間テスト・期末テスト | ・「ファイル」「ノート」「プリント」… |
| ・3学期…期末テストのみ。 | 適宜、テスト後。 |

学習方法

- ・授業の復習(教科書とノート、プリントを照合して学習内容を再確認する。疑問点は質問)
 - ・暗記事項を時間をかけ反復、継続して習得する。
- (知識的な内容…漢字・語句・文法・敬語・表現技法・故事成語 等)

* 日頃から言葉や表現へのアンテナを張って、考えたり調べたり書き留めたり書いたりする。